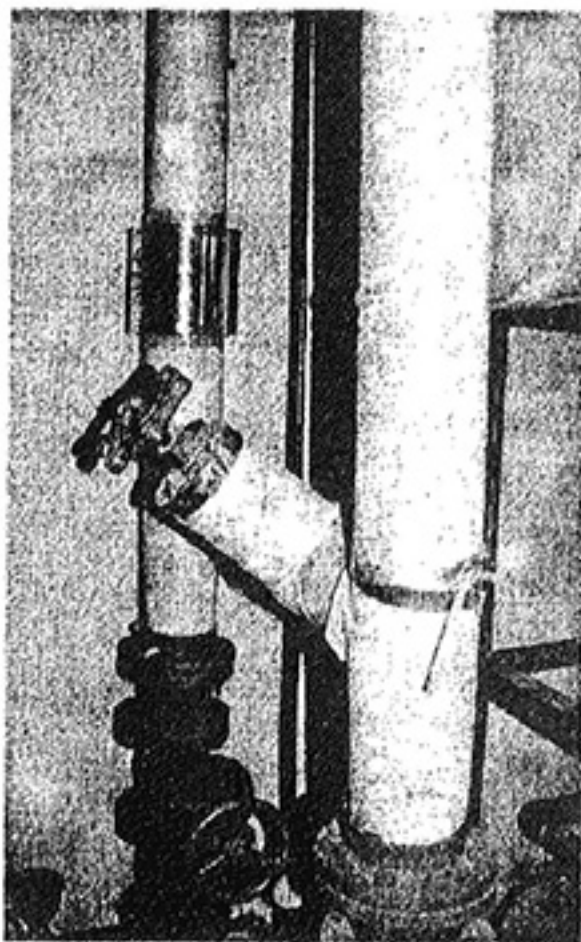


小林病院にみる

NMRパイプテクターの利用



城下町小田原の中心に位置し、十五診療科を擁する医療法人小林病院（小林泉院長、神奈川県小田原市栄町一―四―一八、二六三床）は、古くから小田原地域の医療に貢献している中核病院である。同病院では、昨年末に「経営効率化」の一環として日本システム企画㈱の赤錆を黒錆に変えて配管の劣化を防ぐ「NMRパイプテクター」を導入した。導入の経緯と効果などについて同病院の小林明企画室長に聞いてみた。

―小林病院の特色は何で、各自自治体に先駆けて救急車を導入、昭和三十九年八月を導出した経緯と理由についてお聞かせ下さい。

小林 当院の歴史は、明治四十二年に初代の小林敏一院長による開院まで遡ります。そして一世紀にわたり、患者のために「と地域に密着した医療提供による社会への貢献に努めてきました。その一つとしては、二代目の重三院長が「患者の具合が悪くなった時にすぐに対応できるように」と、

配管改修コストを削減

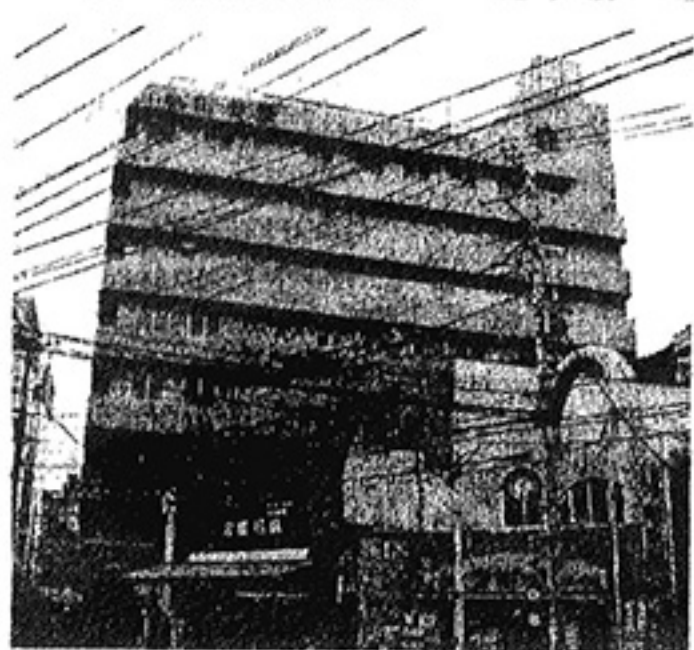
赤錆対策などに効果

設した建物で、配管の交換を検討していません。そんな時にNMRパイプテクターだと従来の敷設費用の十分の一で赤錆を防止できることになりました。

―配管の敷設コストが削減されたということですが、この他に導入理由は何ですか。

小林 当院は、井戸水を使用していますので、月に一度必ず保健所で水質調査をしています。その際に思

い数値は出ていません。しかし、パイプの劣化による赤錆対策等を考えていたところ、この紹介がありました。NMRパイプテクターを導入すれば、配管の老朽化を防ぐことができるといふことで、配管改修コストの削減と合わせて、枝線の改修が不要なため、(改修のために)壁を壊すなどの必要がないという事です。それならば、パイプのジョイント部分に、NMRパイプテクターを



【小林病院の全景】

小林 当院は、地域医療への貢献を主眼として、外科、婦人科、小児科、泌尿科、皮膚科、整形外科、脳神経科、小児外科、健診科、リハビリテーション科、放射線科を擁する医療施設です。そのためには、患者の負担を軽減させること、削減できるコストは削減しなくてはと考えています。平成十年九月に二病棟を改修し、ダウンサイジングを計画しました。NMRパイプテクターの導入は、現在の病床数と比べると、関連施設として、介護老人保健施設「水之尾」(一〇〇床)、小林病院訪問看護ステーション等、地域二科(内科、循環器科、神経内科、消化器科、外科、泌尿科)に合った展開をしてい

最後に、病院運営で